

# のだのコンサート



日独交流150周年  
Jahre Freundschaft  
Deutschland-Japan

クルト・グントナー & 佐々木 秋子 デュオ・リサイタル

Kurt GUNTNER (Violine) & Akiko SASAKI (Klavier) Duo Recital

2010年10月23日(土) 14時開演 (13:30開場) 櫛のホール

Saturday, 23. October 2010 / Keyakino-Hall

全自由席 一般 3000円 学生 2500円

チケット好評発売中



ルドルフ・ケンペ指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団で、またあの歴史的なカール・リッター指揮ミュンヘンバッハ管弦楽団・合唱団の来日公演で、ソロコンサート・マスターを務めた巨匠

クルト・グントナー | Kurt Guntner



前ウィーン・フィル コンサートマスター ウェルナー・ヒンク、同ソロ・クラリネット奏者 ペーター・シュミードル、マンデルリング弦楽四重奏団 との共演で絶賛されたピアニスト

佐々木 秋子 | Akiko Sasaki

予定されているプログラム

モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ 第41番 変ホ長調 KV481

ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第7番 ハ短調 op.30-2

シューベルト: ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ 第2番 イ短調 D.385, op.137-2

ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調 op.78「雨の歌」

チケット取扱 : 佐藤商会(野田郵便局隣) TEL.04-7124-2257  
ブックスエンドウ川間店 TEL.04-7129-4658  
お茶のあらし園(坂東市・グリーンショッピングセンター内)TEL.0297-36-0330  
シャープ楽器(江戸川台・ヨークマート前) TEL.04-7152-3588  
浅野書店(柏そごう・スカイプラザ B1F) TEL.(代)04-7164-2040  
ハーブクラシックス TEL. & FAX 042-444-3239 e-mail : info@herb-classics.jp

主催・お問合せ : のだのコンサート事務局 根本 TEL.090-9209-7164 (10:00~18:00)

企画協力・東京公演 : ハーブクラシックス TEL. & FAX 042-444-3239 e-mail : info@herb-classics.jp  
URL <http://www.herb-classics.jp>

2010年10月30日(土)14時開演(13時半開場) JT アートホール アフィニス(東京・虎ノ門)

後援: ドイツ連邦共和国大使館、ドイツ学術交流会(DAAD)、野田市教育委員会

## クルト・グントナー Kurt Guntner | violin

ミュンヘンでW.A.モーツァルトの183回目の誕生日に生まれる。

ミュンヘンにおいてルートヴィヒ・アカマンに、スイスのベルンにおいてマックス・ロスタルにヴァイオリンを師事。ヘンリック・シェリングのマスターコースでさらに研鑽を積む。

18歳の時、ソリストとしてベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲をミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団とともに演奏してデビュー。以後協奏曲のソリストとして当時の著名な指揮者やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等の有名なオーケストラと多数共演する他、ロンドンのPROMS、オーストラリアのABC-Tourにも参加している。

22歳の時、音楽総監督ヨーゼフ・カイルベルトのもとでミュンヘンのバイエルン国立歌劇場管弦楽団の第1コンサートマスターに就任。

1967年、音楽総監督ルドルフ・ケンペにミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスターとして招かれ、同オーケストラの国内外の演奏会における協奏曲のソリストとしても契約する。

1976年、ミュンヘン国立音楽大学にヴァイオリンの専任教授として招聘され、2004年まで務めた。1962年、カール・リヒターのもとでミュンヘン・バッハ管弦楽団のコンサートマスターとソリストを務める。

1969年、カール・リヒターと共に初めて日本で4週間の演奏旅行(東京、大阪)を行った。以後全世界にて演奏旅行を行い、1981年にリヒターが亡くなった後も後継者ハンス・マルティン・シュナイトと共に同様の活動を続ける。

1963年から2000年までアンズバッハのバッハ週間でソリスト、アンサンブル奏者、コンサートマスターを務め、バッハのドッペルコンチェルトなどをヘンリック・シェリング、ハインツ・ホリガー、クリスティアン・テツラフと共演する。さらに1986年からミュンヘン・バッハ管弦楽団の芸術主任とソリストを務め、国内外での数多くの演奏者とCD制作に携わる。

1967年、音楽総監督ルドルフ・ケンペのもとでパイロイト祝祭管弦楽団の第1コンサートマスターを務め、以後1999年まで多くの年度においてこの活動を続ける。1972年、ピアニストのレオナルド・ホカソン、チェリストのアンジェリカ・マイとともにオデオン・トリオを結成、世界各地で演奏会を開催。数多くのCD録音、ラジオやテレビでの演奏など、およそ30年間にわたり室内楽の活動をする。

世界各地でマスターコースの講師やコンクールの審査員として活躍しており、受賞・表彰歴も多い。10年間にわたり、ボン DAAD の音楽家選抜委員会の委員を務める。さらにミュンヘンのヘンレ出版と協力し、著名なヴァイオリン・ソナタや協奏曲など20曲以上の原典版を発刊している。

2005年より武蔵野音楽大学客員教授として着任。

以上の経歴から、クルト・グントナーはコンサートマスターとしての永年の経験が統合されており、これが音楽家としての彼の人格をきわだつたものとしている。

1995年、ドイツ連邦共和国から第一等功労十字勲章を授与されている。

\*\*\*\*\*

## 佐々木 秋子 (ささき あきこ) / ピアニスト Akiko Sasaki | piano

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部卒業。大島正泰氏に師事。

ドイツフライブルク音楽大学大学院に留学、ティボー・ハザイ氏の下で研鑽を積み、同大学院 Aufbaustudium 首席で卒業。蓼科高原音楽祭賞を受賞。日本室内楽コンクール・デュオ部門入選。

1990年のデビュー・リサイタルから本格的に演奏活動を開始。以後、室内楽シリーズ“ムジツイーレン”を主催する。

2002年、2004年、2005年と秋吉台室内楽セミナー講師として招かれる。

2007年5月ソロ・アルバム“SOAR”を HERB Classics より発売。レコード芸術 2007年6月号で準推薦盤に選ばれる。

2008年7月ウィーン・フィルのソロ・クラリネット奏者ペーター・シュミードルとデュオ・イベントを行い大成功を収める。

また、チェロの村井将が加わった室内楽のタペ“ムジツイーレン”では、ベートーヴェン《街の歌》やブラームス晩年の傑作クラリネット三重奏曲を演奏し観客を魅了する。

2008年9月東京国立博物館にて初来日の現代ドイツ楽壇を代表する実力派弦楽四重奏団マンデルリング・クアルテットとブラームスのピアノ五重奏曲を共演する。

2008年11月、2008年8月末までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスターを務めたウェルナー・ヒンクとデュオリサイタルを開き音楽の友 2009年1月号誌上で絶賛される。

2009年7月ペーター・シュミードル、2009年12月ウェルナー・ヒンクとデュオリサイタル。

2010年1月、2枚目のソロ・アルバム<シューベルト/ 即興曲集 D.899&D.935>を HERB Classics より発売。レコード芸術 2010年2月号で準推薦盤に選ばれる。

ソリストとしての独自性、室内楽におけるアンサンブル・ピアニストとしてのセンスは高く評価されている。

(榊ホールへのアクセス)



(交通) まめバス北、新北、中、南、新南ルート「榊のホール」バス停から徒歩1分  
茨急バス「榊のホール」バス停から徒歩1分 / 愛宕駅から徒歩13分、野田市駅から徒歩15分

至 遠山インナー

### 《交通》

- 東武野田線愛宕駅より徒歩10分
- 東武野田線野田市駅より徒歩15分
- まめバス「榊のホール」下車すぐ
- まめバス北、新北、中、南、新南ルート「榊のホール」バス停から徒歩1分
- 茨急バス「榊のホール」バス停から徒歩1分

榊のホール・小ホール

〒278-0035 千葉県野田市中野台168番地の1  
電話 04-7123-7809